

後期授業に向けて

新型コロナウイルス感染症収束の見通しの立たない中で、心配が多いことと思います。本学としては文部科学省、京都府、厚生労働省等から発信される各種ガイドラインに従い、学校医の意見を聞きながら、皆さんが安心して学業に専念できるよう学修環境を整えて、6月15日から遠隔授業と対面授業の併用講義を実施してきました。学生の皆さんは同級生と共に学ぶことの喜びを感じているものと思います。

本学では次のようなことから、対面授業を重視しています。人は、周囲の人とコミュニケーションし、お互いに刺激を受けながら成長していきます。大学では単に講義を受けるだけでなく、色々な活動の中で人間関係の構築を行うなど、様々な価値を持っています。友達、先輩・後輩、教職員とのつながりなど、一生の宝となるものが大学で得られます。また、教員は対面授業でクラス全体を自分の目で見渡すことで、理解度を把握し、臨機応変に教え方を変えながら授業を進めます。学生にとっても対面授業ならば同級生と同じ教室で勉強することで学習意欲を維持できます。

そのようなことから、9月から始まる後期授業については、引き続き、感染防止策を講じたうえ、対面授業を基本として開講します。具体的な時間割については、教務係から配信されます。

しかし、新型コロナウイルスの感染状況は未だ予断を許しませんので、状況によっては、後期途中であっても急遽、インターネットを使用した遠隔授業に変更することもあります。その場合に備えて、いつでも遠隔授業が受講できるよう、通信環境を整えておいて下さい。

本学では教育を止めることなく、どうすれば皆さんの学修が効果的に行われるのか、また、キャンパスライフが充実したものになるのか、最善の道を検討しています。これまで経験したことがない事態に不安なことが多いと思いますが、相談したいことがあれば、遠慮なく担任教員や学生総合サポートルームにご連絡ください。

夏季休暇中もコロナに感染しないよう、感染させないよう、規律ある生活を心がけて過ごし、9月から元気いっぱいの皆さんと会えるのを楽しみにしています。

2020年8月20日
京都医療科学大学
学長 遠藤 啓吾